



ティー・ロウ・プライスのエンゲージメント方針

ティー・ロウ・プライスでは、資産運用会社としての当社の責任は、顧客のポートフォリオにおいて当社が組入れている銘柄の発行体企業に対する積極的なオーナーシップ、モニタリング、相互のエンゲージメントを介して顧客の利益を守ることと考えています。投資家である顧客より信頼を賜ることで、ティー・ロウ・プライスは今や多くの世界トップクラスの企業の大口の投資家となっており、ほとんどのケースにおいて、企業の経営陣や取締役会メンバーにコンタクトすることが出来ます。当社は、熱意ある投資家としての当社の責任は証券購入の判断を以って終わるものとは考えていません。ポートフォリオで保有している銘柄の発行体企業の経営陣とは定期的に対話しており、懸念材料があれば、企業に知らせるようにしています。

エンゲージメントの定義

当社は、様々な投資関連業務において企業と関与していますが、本方針で定義するエンゲージメントとは、ティー・ロウ・プライスと発行体企業が、企業の環境面での慣行、コーポレートガバナンス、あるいは事業に影響するような社会問題等について学び、影響を与え、意見を交換する目的で交流することを指すものとします。

一般的に、エンゲージメントに際しては以下の3つの目的を視野に入れます。

1. 発行体から情報を取得し、議決権代理行使の判断に利用すること
2. コーポレートガバナンスやサステナビリティに関する具体的な事柄について、当社の意見を発行体に伝えること
3. 発行体からの情報共有や意見交換等の要請に応じること

注：このポリシー・ステートメント（方針表明）は、当社の顧客が保有している銘柄の発行体企業と対話をする場合のエンゲージメントに焦点を合わせています。企業が発行する有価証券には株式、ハイイールド債、投資適格債等が含まれます。自治体や政府機関といった企業以外の発行体との交流については、その時の状況に応じたエンゲージメントのアプローチを用いるため、本方針では除外します。企業以外の事業体とのエンゲージメントの性格は、投資金額、発行体との関係、信用状況（デフォルトかそれ以外か）、その他の要因に基づき事案ごとに異なるアプローチを必要とします。この種のエンゲージメントは本方針の対象には含めません。

エンゲージメントの理念

ティー・ロウ・プライスの投資プロセスには、エンゲージメント、議決権代理行使の活動、そして、環境・社会・ガバナンス（ESG）問題を含む幅広い投資の検討材料の精査が組み込まれています。こういった論点は重要な投資判断の材料であるとの見方に基づき、当社のエンゲージメント・プログラムは投資プロフェッショナルらが主導して、日常的に投資の判断を左右する重要な事柄に焦点を当てています。プログラムはポートフォリオ・マネジャーが主導し、その業界専門のアナリストとコーポレート・ガバナンスおよびサステナビリティに関する社内のスペシャリストが担当する企業、業種、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する専門性を活かして、ポートフォリオ・マネジャーをサポートします。当社のエンゲージメントのアプローチは、以下のような投資家の視点で臨んでいます。

- 会社の取締役会においては誰が株主の代表者となるのか？ 取締役会は会社にとっての戦略的資産か？
- 執行役員報酬制度はどのような判断材料によって決定され、経営陣にとってのインセンティブは何が左右するのか？
- その会社において株主の権利はどの程度強いのか？
- 会社はその環境リスク、人的資源、施設、ステークホルダーとの関係、そして重要不可欠なリソースに対する長期アクセスをどのように管理しているか？
- 債券満期までの期間で、債券保有者の利益にマイナスの影響を及ぼす可能性のあるESGリスクはあるか？

当社のエンゲージメント・プログラムの中心は、それぞれの会社に注目することです。一般的には、幅のあるテーマを軸に複数の企業に同じ質問をしてエンゲージメントを図るということはありません。当社では、当社の中核的な投資アプローチ、すなわち、ファンダメンタル投資分析をルーツとするアクティブ運用との整合性を考え、会社ごとに異なるアプローチで臨むことが最も大きな影響力を持つと考えています。

エンゲージメントが緊密となる分野

当社のエンゲージメント・プログラムは、主には取締役会への正式な書簡、当社オフィスでの非公開な会合、電話会議、議決権代理行使等を通じて実行します。企業が、当社の投資目標の達成を阻害する要因になり得ると当社が考えるようなESG問題が絡む企業行動をとっている場合には、我々が、その裁量においてあらゆる手段を用い、その会社のトップに見解を伝えます。

ライトなエンゲージメント

当社は、毎年年間を通じて、通常のアナリストによる継続的なデュディリジェンスのミーティングでは話題にならないような問題について、数百社もの企業と直接、短時間の会話を交わします。米国では、このようなエンゲージメントのほとんどは電話会議で行い、取締役会のメンバーが出席することはありません。米国以外では面談を実施しますが、取締役も出席する面談が一般的です。通常、これには企業弁護士とその問題のエキスパート、当社の業界アナリスト、当社のガバナンスまたはサステナビリティのスペシャリストらが関与します。総じてこういった面談では、会社の環境・社会・ガバナンス（ESG）対応の特定の側面について情報を集めることを目的にします。このようなやり取りは、それまでに収集してきた発行体についての情報に厚みを加えることとなります。

ヘビーなエンゲージメント

時として、企業の経営者、取締役会とより濃密で深い意見交換が必要になることがあります。この種のエンゲージメントの目的は、当社がその投資目標を達成する上で大きな障害になり得ると考える要因につき、その見解を会社側と共有し、それに対処するために発行体と建設的に協力する方法を探ることにあります。当社の経験上、このようなエンゲージメントは当社のファンド・マネージャーが直接主導し、ファンド・マネージャーが重大な懸念材料があると感じていることを伝えるのが最も効果的ですが、企業と投資家（株主か債券保有者のいずれか、またはその両方）が協力して是正に努めることもあります。この問題が是正されることは、当社の顧客にとっての大きなリターンの成功につながる可能性が極めて高いため、当社としても時間とリソースを重点的に投入します。

エンゲージメントの優先順位

ティール・ロウ・プライスが専らポートフォリオのアクティブ運用にのみ特化していることを考えると、投資目標の達成の障害になると考える状況では（ほとんどの場合）投資を見送ることができません。すなわち、ヘビーなエンゲージメントは極めて慎重に、厳選して行うものであり、着手する前に以下の点を考慮します。

- 当社が大口の株主ないし大口の債券保有者であるか？
- 長期投資家としてその銘柄を保有継続する予定があるか？
- ティール・ロウ・プライスの社内においてその銘柄を保有しているポートフォリオ・マネージャーが複数いる場合、全員がその問題の性格と程度/範囲に合意しているか？
- 問題について具体的に把握していることと、提案すべき建設的なソリューションを持っていることの両方が充足されているか？
- このエンゲージメントにより、投資のリスク/リターンの特性を向上させるために必要な変化を促すことができるか？

協動的エンゲージメント

時として当社は、マーケット全体のレベルでの情報開示の強化や、商慣行の改善を目的としたその業界のイニシアチブに、他の投資家と共に参加することがあります。協動的なエンゲージメントの機会を迅速に捉えるため、ティー・ロウ・プライスは、支援活動やエンゲージメントを目的とした各種イニシアチブに参加したり、投資家をとりまとめてそのようなイニシアチブを先導したりしてきました。現在当社が会員となっているリスト（ページ右）をご参照ください。

潜在的利益相反の管理

議決権投票とエンゲージメントの活動に関し、ティー・ロウ・プライスはこういった活動が顧問契約している顧客以外の人物の利益に左右されないよう、予防策を講じています。議決権代理行使における利益相反の管理については、当社の「[議決権代理行使方針と手順](#)」の文書に詳細を記載しています。

- 主に顧客とのリレーションシップ管理、マーケティング、営業を担当する人物はエンゲージメントに関係する協議に加わるできません。
- 個人的な利益相反に関しては、ティー・ロウ・プライスの倫理行動規範により、すべての従業員は当社の顧客の利益と自身の利益が相反するような立場にはならないよう求められており、社外のビジネス活動に従事することは制限されています。特定の発行体と個人的な利益相反を持つ投資プロフェッショナルは、関与を避け、そのエンゲージメントにかかる判断には参加できないようになっています。
- 当社の積極的な外部とのエンゲージメントはすべて、アナリスト、ポートフォリオ・マネジャー、そして責任投資およびコーポレートガバナンスのスペシャリストを含むティー・ロウ・プライスの投資プロフェッショナルが主導します。エンゲージメントの計画は、本方針に記載されるとおり、発行体とティー・ロウ・プライスの取引関係を考慮することなく、評価・実行されます。

組織	説明	ティー・ロウ・プライスの立場
アジア企業統治委員会 (ACGA)	機関投資家向け汎アジア投資家協会	メンバー
資本市場投資家協会 (AMEC)	ブラジル少数投資家協会	メンバー
機関投資家協会 (CII)	米国機関投資家・企業発行体・資産運用会社協会	協会員
インベスターCDP	二酸化炭素排出の開示強化に向けた啓蒙組織	署名
投資家スチュワードシップ・グループ (ISG)	米国市場参加者のためのコアガバナンス原則を提唱する投資家	設立メンバー
日本スチュワードシップ・コード	スチュワードシップ原則を維持する公的なコミットメント	署名
責任投資原則	責任投資に関するグローバル・イニシアチブ	署名
英国投資家フォーラム	英国企業への投資家のための協動的エンゲージメント協会	設立メンバー
英国スチュワードシップ・コード	スチュワードシップ原則を維持するための公的なコミットメント	署名

よくあるご質問

Q: ティー・ロウ・プライスは企業に対するエンゲージメントの結果を公表していますか？

A: ハイレベルでのエンゲージメントの統計、会社名を伏せた形で一部のエンゲージメントの事実や結果を記載したケーススタディを定期的に公表しています。当社のエンゲージメントの優先順位は、その会社に対する当社の投資の見解と密接に関係するため、企業レベルでのエンゲージメント活動はほぼすべての場合、非公開で行うようにしています。

Q: ティー・ロウ・プライスはどのような状況で企業が主導するエンゲージメントに参加しますか？

A: 通常、当社は、当社の顧客のポートフォリオに組み込まれている発行体で、当社とESG問題に協議ついでたいと考える発行体に関与するようにします。時間や人の制約もありますので、当社としては、ファンダメンタル志向のアクティブ運用ポートフォリオ（1件か複数件）において当社が多額の持分を有する企業以外是对話することはありません（この場合の多額の持分とは、その会社の大口株主上位50社に含まれる場合を指します）。持分が多くない企業とのエンゲージメントには、通常は時間を割くことが難しい状況です。

Q: エンゲージメントに興味がある発行体はどのようにティー・ロウ・プライスに連絡すべきでしょうか？

A: 発行体の企業から Engagement@TRowePrice.com に面談要請のご連絡をいただければ幸いです。その際に企業担当者の方には、以下の項目についてご連絡をお願いしております。

- 具体的な要請（「電話会議をお願い致します」のほうが、「何かご意見等があれば会議の予約を検討します」よりも望ましいです）
- 会社の経営陣が話し合いたいと思うトピックの一般的な説明
- ミーティング（電話会議か面談か）の時間と内容の希望
- ミーティングの設定をする人物の連絡先

Engagement@TRowePrice.com 宛に要請のメールが届いた場合には、コーポレート・ガバナンス・グループか責任投資グループか、またはその両方に転送すべきかどうかを管理者が判断し、然るべきグループのメンバーが会議を設定します。

注：発行体は、ティー・ロウ・プライスによるエンゲージメントが有益であると考えなかったり特に現状では懸念のある分野がなかったりする場合にはティー・ロウ・プライスとのエンゲージメントを行わなければならないと感じる必要はありません。当社では、外部との接触を、例えば、年に一度など、決まった頻度で実施しなければならないといったようなルールはありません。当社顧客のポートフォリオに組み込まれている企業の経営陣とのコミュニケーションは、アクティブ運用マネジャーとしての当社のプロセスの中核部分を構成するものであり、ESG問題にかかる追加のエンゲージメントが必要になるというものでもありません。

Q: エンゲージメントのミーティングにおいて、発行体の側からは誰が出席しますか？ ティー・ロウ・プライスからは誰が参加しますか？

A: 定期的なエンゲージメントについては、一般的には然るべき管理部門のメンバー（弁護士、人事部長、IRチーム、総務部、サステナビリティ部門長）が電話で対応し、適宜、ティー・ロウ・プライスのガバナンスのスペシャリストかサステナビリティのスペシャリスト（あるいはその両方）も参加します。ミーティングの議題により、誰が参加するか決まります。

時としてティー・ロウ・プライスは、経営陣による対応が十分ではないガバナンスないしサステナビリティの問題があるか、あるいは、当社の投資目標達成を阻害するようなガバナンスないしサステナビリティの問題があると思える場合には、企業とハイレベルでの協議を行うよう努めます。それらの協議は、一般的には経営者のトップレベルと最初に行いますが、のちに、取締役会のメンバー（ひとりか複数）とのミーティングを要請することもあります。そのようなミーティングについての参加者は、会社の経営陣、取締役、当社のガバナンス/サステナビリティのスペシャリスト、当社の業界アナリスト、顧客のポートフォリオにおいてその銘柄を保有しているポートフォリオ・マネジャーらなどが最適です。

Q: エンゲージメントにおいてはどのような資料と準備が有益でしょうか？

A: 電話会議の前に資料をお送りいただく必要はありませんが、各発行体とティー・ロウ・プライスの間での対話内容は記録しているため、概要資料はとて有益であると思います。概要資料には、一般的には以下の内容を盛り込んで頂けると大変助かります。

- 過年度における会社の業績のハイライト概要
- ハイレベルでの経営陣インセンティブ制度の説明
- 取締役会メンバーとそれぞれのスキル/経験を記載した表
- 環境問題または社会問題に関して会社が重要と考える取組み達成指標の説明
- 中心的な役割を果たしている担当者の連絡先リスト

また、電話会議の前にティー・ロウ・プライスの議決権代理行使と責任投資のガイドラインについても閲覧したいとお考えの発行体のご担当者は以下をご参照ください。: <https://www3.troweprice.com/usis/corporate/en/what-we-do/investing-approach/esg-investment-policy.html>.

当社の側では、会社の直近の議決権投票の提出記録、直近の株主総会における投票結果、最近の社内のアナリストレポート、企業のサステナビリティレポート、企業ニュースなどを調べ、各エンゲージメントの電話会議に向けて準備するよう努めます。当社の経験上、エンゲージメントのミーティングは各参加者が事前に然るべき情報を頭に入れておくことで生産性が向上します。

Q: エンゲージメントのミーティングは、委任状勧誘者その他の第三者のアドバイザーがアレンジすることもありますか？

A: 第三者の方がご自身のクライアントに代わってミーティングを設定することも可能ですので、Engagement@TRowePrice.com までメールで連絡してください。以下の点にご留意ください。

- 委任状勧誘者は、参加者として電話会議に参加する前に当社の承認を得るようにしてください。
- エンゲージメントの電話会議におけるすべての参加者は会議の冒頭で自己紹介していただきます。ご参加を告知することなく、電話会議に参加して会議の内容を聞くことはできません。
- 委任状勧誘者は、ミーティングの設定以外の目的で上記のメールアドレスを使用しないでください。
- いかなる状況であれ、委任状勧誘者が、ティー・ロウ・プライスの投資アナリストかポートフォリオ・マネジャーに直接連絡することは認められません。

エンゲージメント活動の範囲

分類	説明	頻度	協議内容
ライトなエンゲージメント	短期的な性格を持つ問題について発行体と端的に情報を交換	年間250～300件	<ul style="list-style-type: none">次回の議決権代理行使について協議執行役員報酬制度にかかる変更案を精査特定のガバナンス問題について当社の見解を共有環境面での指標にかかる追加開示を要請
ヘビーなエンゲージメント	深刻な懸念がある問題について発行体一社と複数回にわたる意見交換を行います。このようなエンゲージメントは、典型的には1～2年もの長期にわたって続きます。	年間10～15件	<ul style="list-style-type: none">深刻なガバナンス問題に関する懸念を書簡にて取締役会に送付会社の取締役会に対してプレゼンを実施株主権利、投資家への扱いが不公平であること、相反取引等の重要な問題に関しては公的なスタンスを採用
委任状争奪	発行体が反対株主が正式な委任状勧誘期間を設定し、取締役会の半数以上に選出候補者がいる場合に委任状を争奪します。	年間20～30件	<ul style="list-style-type: none">ティー・ロウ・プライスがその会社に多額の投資を行っている場合には、争奪戦において双方が妥協できるように努める各戦略のポートフォリオ・マネジャーは、ポートフォリオ・マネジャーの投資戦略で保有している株式についての最終的な意思決定者となる
協調的エンゲージメント	ほかの機関投資家が当社と同じESG問題についての懸念を共有している場合には、当社は、そのメッセージを強く打ち出す方法として、他の機関投資家と共にソリューションを模索することがあります。	年間2～3件	<ul style="list-style-type: none">一般的に、ティー・ロウ・プライスがメンバーとなっている、例えば、英国投資家フォーラム、アジア企業統治委員会、機関投資家協議会などの確立された組織を通じて実施